

きほく川柳会

勝立てほどてきぱきてきぬ後仕末

宇都宮 孝

郷愁の音でラムネの栓が開く

合田 悦子

番犬といつても体太いだけ

加藤 桂子

渡りに舟と信じて乗った泥の舟

宮岡 沙代

疑心暗鬼人を臆病者にする

栗木 一郎

川柳で老化の脳の溝掃除

吉井 興一

再会もやけぼつくに火が付かぬ

渡辺 光男

ひとつ覚えふたつ忘れて日々平和

都 瞳

梅雨寒もいいな熱爛しんとくる

宇都宮 忍

紫の雨が詩情を掻きたてる

西原 淳子

農業も対アメリカで腰折れる

武田 浅美

言い過ぎた悔いがチクチク眠らせぬ

金子すすむ

泥酔のその正体は泣き上戸

宮川 柳酔

正体は酒と寝言が暴露する

財前 溪子

明けがたの地震に驚きヘルメット手元に置いて再び眠る

佐々木登美子

前日に避難集会にて講話受く揺れに目覚めて身構へいたり

武田 幸子

胃の検査ことなく終り安堵して歩む道辺に桔梗の映ゆる

高田 治子

絵画展優秀賞に輝きて祖父母の家に孫は持ち来る

河添 春子

老い忘れ夢中になる性後悔す体調くずしし友に気づかず

蛭谷 寿子

霧深く初夏の新芽を喰みに来る鹿の声聞くわが御開山

兵田トミ子

若変り颯爽としてベダルふむ気持ちだけでも若く有りたし

芝 幸子

近小の校庭おおいちよう広く大公孫樹春一番の風になびかう

山本まつゑ

見渡せば川面に点滅少ない螢追いかけ幼になりて

伊手リツエ

のど自慢百一才で鐘が鳴る「オリンピックも見ます」と笑顔

二宮 安恵

広見短歌会

Andrew's Story 【No.15】 「Rainy day」

日本の梅雨はもうとつくに終わつたはずなのに、まだまだ雨の日が続いていますね。私の出身であるアリゾナ州では雨が珍しく、ほとんど降りません。なので、私は何日も雨が降り続けることには慣れていません。

皆さん、雨は好きですか。私は雨が大好きです。特に春に雨が降ると、とてもいい気分になります。なぜなら、雨が降ると、小さい頃の思い出を思い出すからです。

日本では、雨の日にはほとんどの人が家の中で過ごしますよね。そして、ときどき窓や縁側から雨を眺めています。一方、アメリカでは、特に子どもの頃は、雨が降るとよく友達と外で遊びます。もちろん、大雨や雷雨のときには遊

べませんが、小雨や普通の雨ぐらいなら、私も子どもの頃によく外で遊んでいました。

大人になった今では、私は雨の音が大好きです。その音には、とてもいい雰囲気を作り出す魅力があります。雨の音だけでもいいでしょう。もしくは雨の音と、ジャズやクラシック音楽を合わせてみてください。それだけで勉強や読書などに集中しやすい環境が作れますよ。

アメリカでは、多くの写真家がアマチュア時代に、よく雨の写真撮ります。そして、新しいカメラを買って、テスト撮影をするときも雨の写真を撮ることが多いです。どうして雨なのか…おもしろいですね。



鬼北町外国語指導助手
通称：アンディ
アメリカ合衆国アリゾナ州出身
※毎週水曜日、英会話教室を開講しています。